



アクバットジャバール難民キャンプでのプロジェクトの経験と成果を他の難民キャンプの住民代表たちと共有

May 2018

難民キャンプ改善マニュアル第1版が完成

二つのマニュアル

PALCIP(難民キャンプ改善プロジェクト)では、最初のパイロット事業実施キャンプとして選定されたアクバットジャバール難民キャンプにて、2017年3月より、キャンプ改善のための住民参加型計画策定および、パイロット事業実施・管理を行ってきました。

2018年3月にパイロット事業が完了したことに伴い、アクバットジャバールキャンプでの経験を取り纏めた、「キャンプ改善事業実施・管理マニュアル」を作成しました。

このマニュアルは、キャンプ改善のためのプロジェクト選定、実施計画策定、調達、モニタリング、説明責任・広報、およびファンドレイジングについて記したものです。今後、パレスチナ解放機構(PLO)難民局(DoRA)や住民委員会(PC)が難民キャンプ改善事業を実施する際に参照してもらうことを目的としています。

2017年12月には、実施マニュアルの前段階である、住民参加型によるキャンプ改善計画策定の手順を纏めた「キャンプ改善計画策定マニュアル」を作成しているため、2つのマニュアルが完成したことになります。

アクバットジャバールキャンプでの経験をもとに作成されたこれらのマニュアルをベースに、2年次キャンプにおけるこれからの経験・教訓を追加し最終化を目指します。

PALCIPの経験とマニュアルを西岸地区の難民キャンプに紹介(経験共有ワークショップ)

2018年5月、約1年間におけるアクバットジャバールキャンプでのPALCIPの経験を西岸地区の他の難民キャンプに紹介すべく、各キャンプの住民組織の代表等を招待し、経験共有ワークショップを開催しました。

ワークショップでは、PALCIPの概要、キャンプ改善フォーラム(CIF)立ち上げまでのプロセス、キャンプ改善計画(CIP)策定とパイロット事業の選定～実施までの一連の流れについて、DoRA職員がプレゼンテーションを行いました。また、活動を通して作成した2つのマニュアルについても紹介しました。

質疑応答では、CIF立ち上げの前にもどのような社会調査をしたのか等、計画から実施にわたる具体的な内容について参加者の間で活発な質疑が行われました。

PALCIPとしてアクバットジャバールキャンプへの直接的な関与は5月で終了しましたが、活動を通じて設立されたCIFは、DoRAおよびPCと協力しつつ、引き続き活動をしていきます。また、カウンターパートであるDoRAのプロジェクトへの理解および主体性も、この一年間の活動を通じて向上してきており、2年次キャンプでの活動に期待が高まります。